

水鳥公園だより

2009年 7・8月号(第155号)

7・8月のみどころ ～カルガモの親子～



(親鳥の全長:63cm ヒナの全長:不明)

毎日20種類以上の鳥が観察できる時期ですが、そのなかでも飛びぬけて人気があるのがカルガモの親子です。幼いヒナがお母さんに置いて行かれないように必死で泳ぐ様子は、ずっと見ても飽きません。多いときで15羽以上もヒナを連れている母親がいます。どの親子にも、群れから大きく外れて泳ぐやんちゃな子が1羽くらいいるのも、愛嬌があります。

今月のNEWS

鳥の親子の観察シーズン到来！

5月22日にカルガモ親子が初確認され、水辺の鳥たちの子育てが活発な時期になりました。毎年10組以上のカルガモ親子が園内で観察できるほか、7月頃からカイツブリの子育ても観察できるようになります。

ヨシ原に視線を移すと、オオヨシキリが虫をくわえて雛にえさを運ぶ様子が見られ、あどけない顔をした巣立ち雛が親鳥の後を追って飛ぶ様子がみられます。

野鳥の親子が観察できるのは、初夏ならではの光景です。是非、かわいい水鳥たちの親子に会いにお越し下さい。



新聞紙面で水鳥公園の話題を連載中！

5月から、毎週土曜日の山陰中央新報で「フィールドノート 水鳥公園から」というタイトルの連載を担当しています。ここでは、水鳥公園で毎日働いている職員が、日頃の仕事の中で見たことや体験したこと、皆様に伝えたい「思い」など、様々な角度から交代で原稿を書いています。一年間程度このコーナーを担当させていただくことになっておりますので、是非チェックしてみてください。



「水鳥公園ブログ」より

2009年6月13日の記事



自然観察会「デジカメで水鳥公園の生きものを撮ろう！」

今日は毎月定例の自然観察会の日です。

今回のテーマは、「デジカメで水鳥公園の生き物を撮ろう！」。新企画です。

初めに、写真撮影の基本的なコツを説明。「皆さん、黄金比率ってご存知ですか？」

(画像)

コツの説明が終わったところで、いよいよ屋外で実践です。大きな目立つ生き物がいなくて、生き物探しに苦戦。こんなときは、しゃがんで草むらにぐっと顔を近づけてみましょう。立っているときは見えなかった小さな生き物たちが見えてきます。(画像)

生き物を見つけたら撮影に挑戦。背景ばかりにピントが合ってしまう、なかなか難しい!

(画像)

このテーマは初めてだったのですが、実際に行ってみてわかったことは、デジカメのマクロモードの使い方をご存じない方が多いこと、生き物を探すのが難しいということでした。

今度開催するときは、まずマクロモードの使い方を練習してから実践に移るなど、今日の反省点を生かしてより楽しくて勉強になる観察会にしようと思います。

Check it out YO!! <http://nakaumi.blogspot.com/>

2009年5月14日～2009年6月17日に見つけた野鳥

カイツブリ、カワ、ゴイサギ、アマサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アサギ、
(コバクチョウ)、オシドリ、マガモ、カガモ、コガモ、トモエガモ、ヨシガモ、オオヨシガモ、
ヒドリガモ、オオガガモ、ハシロガモ、ホシヅロ、キンクロハジロ、スズガモ、ミサゴ、ヒ、
オオタカ、チュウビ、ハヤブサ、キジ、ヒクイナ、バン、オバン、コチドリ、メダイチドリ、
ダイゼン、トウネン、ハマシギ、サルハマシギ、オハシギ、ツルシギ、アカアシシギ、コアカシシギ、
アオアシシギ、キアシシギ、イソシギ、ソリハシギ、オグロシギ、オオソリハシギ、
チュウシャクシギ、セイタカシギ、ヨリガモ、クロハラアジサシ、キジバト、カッコウ、ホトトギス、
アマツバメ、カワセミ、ヒバリ、ショウドウツバメ、ツバメ、コシアカツバメ、イワツバメ、
ハクセキレイ、セグロセキレイ、コヨシキリ、オオヨシキリ、セッカ、ホシヅロ、カラビラ、スズメ、ムクドリ、
ハシボガラス、ハシボソガラス、(トバト)

計71種+外来種2種

太字の鳥は、注目の鳥や珍しい鳥、()の鳥は外来種です。

7～8月のイベント

「ダンゴムシレース大会 2009」

7月18日(土)～8月31日(月)

園内でダンゴムシを捕まえて特設迷路に入れ、スタートからゴールまでの時間を競います。参加者全員に参加賞としてダンゴムシ缶バッチをプレゼント。大会終了後、優勝者には賞品をプレゼントします！

対 象：開館時間中、いつでもどなたでも参加できます。

参 加 費：入館料が必要です。

会 場：水鳥公園ネイチャーセンター 2階インジャーカウンター「ダンゴムシスタジアム」



夏休み思い出企画「思い出のうちわを作ろう！」

7月18日(土)～8月31日(月)

夏休みに水鳥公園で遊んだ思い出をうちわにして持ち帰りませんか？真っ白なうちわに思い出の絵を描いて、オリジナルのうちわを作りましょう！

対 象：開館時間中、いつでもどなたでも作れます。

参 加 費：入館料が必要です。

別途、材料費として1個につき100円

会 場：水鳥公園ネイチャーセンター 2階 観察ホール



7～8月のイベント

自然観察会「家族みんなでメダカ捕り！」

7月20日（月・海の日）10：00～12：00

身近なお魚であるメダカについて、あなたはどのくらい知っていますか？水鳥公園でメダカを捕まえて、メダカの秘密に迫りましょう！

対 象：申し込み不要・どなたでも参加できます。

持ち物：目の細かいタモ網、メダカの入れ物、長靴、帽子、水筒、汗拭きタオル

ビーチサンダルと半ズボンは危険です！

必ず長ズボン・長靴でご参加下さい！

参 加 費：入館料 300 円

会 場：水鳥公園ネイチャーセンター



夏休み親子ふれあい講座「小鳥のお家を作ろう！」

1 回目：7月26日（日）会場：水鳥公園ネイチャーセンター

2 回目：8月15日（土）会場：米子市児童文化センター

時 間 9：00～12：00

親子で協力して、シジュウカラ用の巣箱作りに挑戦してみませんか？巣箱の正しい架け方も先生から御指導いただけます！

対 象：小学生の親子対象

先着 10 組（7/26）

先着 15 組（8/15）

参 加 費：入館料が必要です（7/26）

別途、材料費として 1 個につき
100 円



1 回目と2 回目は会場が違います！ご注意ください！

7～8月のイベント

夏休みおもしろ講座

- 7月19日(日) 10:30～12:00 「昆虫標本を作ろう！」
8月9日(日) 10:00～13:00 「身近な生き物を味わい隊！」
8月16日(日) 10:00～11:30 「昔の中海の貝殻標本作り」

小学生の皆さん、夏休みの自由研究はもう決まっていますか？是非、水鳥公園のおもしろ講座に参加して、夏休みの自由研究のテーマを見つけましょう！詳しくはお問い合わせください！

対 象：小学生以上対象先着 20 名・要申し込み
参 加 費：入館料 300 円 + 材料費別途
会 場：水鳥公園ネチャーセンター



「水鳥公園の生きもの図鑑を作ろう！」

7月31日(金)～8月2日(日) 9:00～12:00

ラムサール条約登録湿地には、どんな生き物が住んでいるのでしょうか？そこで、皆さんに三日間連続で生き物調査をして頂きます。そして、見つけた生き物を記録した生き物図鑑を作りましょう！

対 象：小学3年生～中学3年生・先着 20 名・要予約
参 加 費：同伴者の入館料無料・材料費 100 円
集 合：水鳥公園ネチャーセンター
事 務 局：(財)中海水鳥国際交流基金財団



所在地 〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田665 TEL：0859-24-6139 FAX：0859-24-6140

ホームページ <http://www.yonagomizudorikouen.or.jp/> ブログも公開中。是非みてね！

開園時間：4月～10月 9:00～17:30

11月～3月 8:30～17:30(土・日・祝日は、7:00から開園)

入館料：高校生以上70歳未満：一人300円、中学生以下・70歳以上：無料、年間パスポート1500円

休園日：毎週火曜日および祭日の翌日(土曜、日曜を除く)

